

秋川ファーマーズセンターの指定管理者の候補者について

1 公の施設の名称

秋川ファーマーズセンター（以下「センター」という。）

2 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

3 指定管理者の候補者の概要

(1) 名称

秋川農業協同組合（以下「農協」という。）

(2) 住所

東京都あきる野市秋川3丁目1番地1

(3) 事業内容

「秋川ファーマーズセンター」「販売事業」「購買事業」「指導事業」「共済事業」など

4 指定管理者の候補者の決定までの経過

令和5年

6月 2日（金） 環境経済関係施設部会による検討

6月19日（月）～7月5日（水）

あきる野市指定管理者選定委員会委員への意見聴取（審査要領等）

7月12日（水） 指定管理者審査要領等の決定

9月 1日（金） 指定申請書の提出

9月 5日（火） あきる野市指定管理者選定委員会への諮問

9月25日（月） あきる野市指定管理者選定委員会の開催

9月25日（月） あきる野市指定管理者選定委員会からの答申

10月 3日（火） 指定管理者の候補者の選定

5 指定管理者の候補者の審査方法

候補者の審査は、あきる野市指定管理者選定委員会において提出書類とプレゼンテーション（業務内容提案）を基に審査を行った。

6 公募によらず農協を候補者とした理由

(1) 協定書、事業計画等に沿って適正に指定管理業務を行っていることについて

センターは、平成5年度に建設した施設であり、あきる野市における農業振興や農業者と市民の交流を促進する中核的な複合施設として、地元で採れた新鮮で安全・安心な農畜産物等の販売や市民が農業への理解を深めるための市民農園の運営等を行うこととしている。その管理運営は、オープン当初から農協に委託しており、平成18年度からは指定管理者制度により、引き続き、農協がセンターに出荷される農産物の安定的な供給のために、作付け・栽培指導や品質管理、市民農園の運営等を行っている。

農協は指定管理者として、協定書、事業計画書等に沿って適正に指定管理業務を行い、異常気象による影響のほか、コロナ禍による影響により落ち込んでいた使用料収入も改善傾向にあり、モニタリングの評価も適正となっている。

(2) 施設の利用状況が改善されている又は良好な状態であることについて

夏・秋を中心としたイベントの開催、付加価値の高い農産物加工品の販売、旬の野菜を取り入れたレシピの紹介などにより、売上の向上に努めている。

また、消費者が求める新鮮で、安全・安心な農産物であることをPRするため、平成20年にJA東京中央会の「生産履歴管理・農薬適正使用システム」を導入し、農業者の栽培履歴の登録や作物ごとに使用できる農薬と散布回数などの適正化を図り、集客力の向上に努力している。

このように売上と集客力の向上を図るため、新鮮で安全・安心な農畜産物の提供に努めているが、近年の異常気象や端境期に対応するため、東京都、市など関係機関と協力し、天候に左右されにくいパイプハウスなどの施設や農産物加工所の導入を推進するなど、あきる野農業の目指す「地産地消型」農業の推進に寄与している。

施設利用者（レジ客）及び売上額一覧表

年 度	施設利用者（レジ客）（人）	売 上 額（千円）
平成30年度	284,595	437,345
令和元年度	272,914	418,229
令和2年度	246,158	415,390
令和3年度	252,265	422,395
令和4年度	246,386	442,317

(3) 収支計画書に基づく予算執行が適正になされており、施設の収支状況が良好な状態であることについて

人件費及び自主事業関係経費の増加により収支状況は厳しくなっているが、使用料収入は前年度を上回り改善している。

しかしながら、将来に向けて、直売所会員の高齢化、後継者不足による担い手不足により、出荷量の減少、売上の減少、来客数の減少が懸念されている。

このため、農協及び直売所運営委員会では、新たな出荷者として、東京都や市が認めた新規就農者を会員として受入れている。また、生産技術の向上を目的とした研修会の開催、集客対策としてのイベントの開催、売り場のレイアウト変更など、改善策を実施している。

(単位：千円)

項 目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収 入	指定管理料	0	0	0	0	0
	使用料収入 (売上)	273,925	264,008	261,654	270,355	333,372
	自主事業収入	159,157	149,742	149,510	152,040	108,945
	その他の収入	4,263	4,479	4,226	0	0
	計	437,345	418,229	415,390	422,395	442,317
支 出	人件費	28,961	17,527	16,838	32,973	47,739
	維持管理経費	19,687	20,395	18,881	23,008	17,261
	自主事業 関係経費	395,506	381,700	378,411	373,029	389,207
	その他の支出	18	25	36	11	0
	計	444,172	419,647	414,166	429,021	454,207
収支（収入－支出）		△6,827	△1,418	1,224	△6,626	△11,890

※ 数字の単位未満は、四捨五入しているため、内訳の計が合計と一致しない場合がある。

(4) 指定管理者となっている団体の経営状況等から、安定的かつ継続的なサービスの提供が認められることについて

農協は、センター開設以来30年間にわたり農業者、消費者及び市民と連携して、あきる野農業の発展に寄与してきた実績とともに、長年の施設運営に関するノウハウを活用し、スムーズな運営と農業者の経営の向上を推進させてきた団体である。

以上のことから、今後もあきる野農業の更なる発展を担うことが期待できる農協を、引き続きセンターの指定管理者とすることで、安定した行政サービスの提供と事業効果が期待できると判断する。

7 収支見込

収支予算書（令和6年度～令和10年度）

各年度において概ね以下の収支水準を維持する。

（単位：千円）

費 用			収 益		
科目		金額	科目		金額
事業費用	会員直売	289,000	事業収益	会員売上	340,000
	JA仕入品仕入	109,650		JA仕入品	129,000
	市民農園賃借料	1,809		市民農園利用料	2,500
	計	400,459		計	471,500
事業管理費		69,000			
事業外費用		0	事業外収益	0	
費用合計		469,459	収益合計		471,500
差引利益		2,041			

8 指定管理者の指定管理料 なし

9 指定管理者選定委員会における審査の結果

評価は、「良い」、「普通」、「悪い」の3段階評価とし、各評価項目について評価する。

評価項目		評価		
		良い	普通	悪い
1	指定管理者としての管理運営の状況について	5	2	0
2	施設の管理運営に係る改善等の取組について	4	3	0
3	地震、火災等の災害に備えた支援の取組について	1	6	0
4	団体の経営方針について	7	0	0
5	施設の運営方針について	7	0	0
6	施設の管理運営の実績を踏まえた今後の取組方針について	4	3	0
7	施設の管理運営について	4	3	0
8	人員体制について	3	4	0
9	収支見込みについて	3	4	0
10	個人情報の保護対策及び情報公開について	3	4	0
11	第三者評価への取組について	2	5	0
12	苦情処理体制について	3	4	0
13	危機・安全管理体制について	3	4	0
14	地域や市内業者、他施設等との連携について	6	1	0
15	団体の経営状況について	5	2	0
評価合計		60	45	0

10 指定管理者の候補者の決定

あきる野市は、農協を公募によらず指定管理者の候補者とすることについて、あきる野市指定管理者選定委員会に諮問した結果、当該委員会から異議がない旨の答申を得たことから、農協を秋川ファーマーズセンターの指定管理者の候補者に決定した。